

1 編成方針

平成20年度予算の編成にあたっては、次の3点を基本方針として掲げました。

第一に、時代に即した町民サービスの水準の確保を図りながら、継続的に収支のバランスのとれた財政構造へ転換を図る。

第二に、町民から貴重な財源を預かっているという認識のもと、最少の経費で最大の効果をあげられるよう、事業手法や執行体制なども含めて厳しく検証した上で事業を構築する。

第三に、本町が掲げる「人にやさしいまちづくり」の推進に果敢に取り組む。

この基本方針のもと、第3次斑鳩町総合計画の実現に向け、「選択と集中」によって、限りある財源を重点的、効率的に配分して、次の視点から予算を編成しました。

1. いきいきと学びあえる教育環境の充実
2. 誰もが健康で、温もりとやさしさを実感できる福祉の充実
3. 快適でうるおいを実感できる都市基盤の整備
4. 環境にやさしく、やすらぎを実感できる生活環境の向上
5. 豊かな歴史的・文化的資源を生かした斑鳩らしさの創造
6. 多様化する住民ニーズに的確に対応するため、行財政運営の効率化と健全化

2 まちづくりの基本施策

まちづくりの基本施策は、第3次斑鳩町総合計画にかかげる6つの柱とする。

1. とともに生き心ふれあうまちづくり ～地域づくり・人づくり～
2. すこやかにともに生きる福祉のまちづくり ～保健・福祉・医療の充実～
3. 文化の香り高く心豊かなまちづくり ～教育・文化の振興～
4. 潤いのある魅力的なまちづくり ～都市基盤の整備～
5. 安全で快適なまちづくり ～生活環境の整備～
6. にぎわいのあるまちづくり ～産業・観光の振興～

3 財政規模

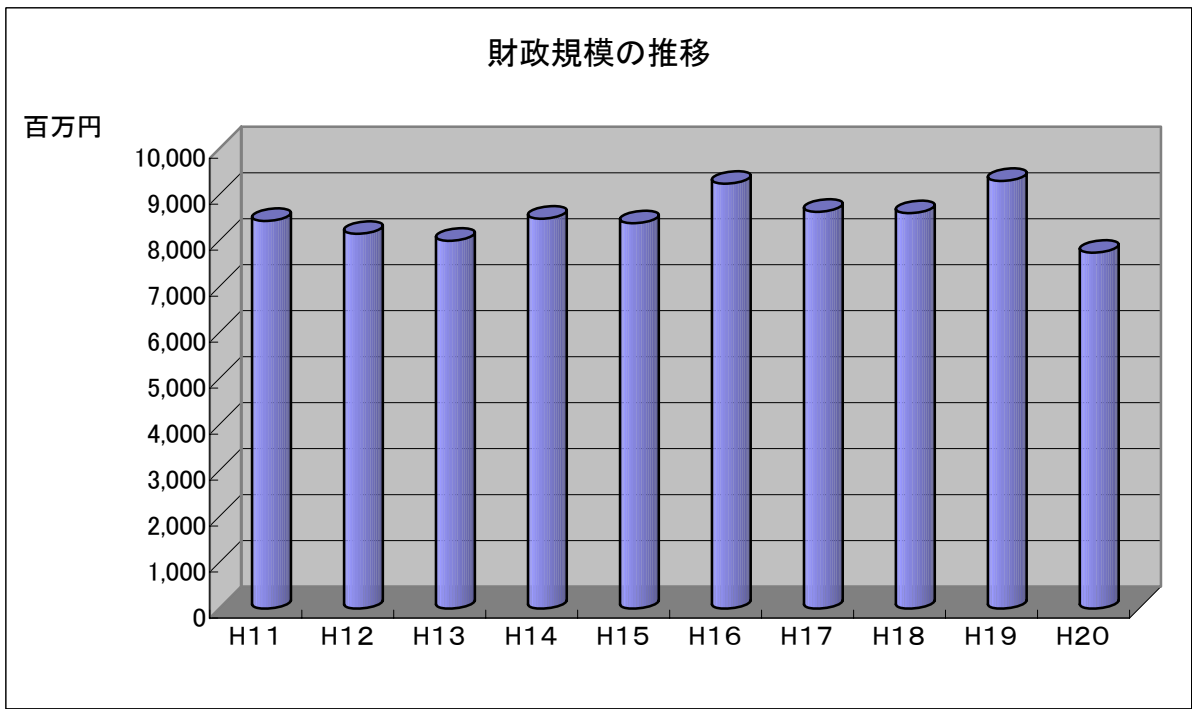
平成20年度一般会計の予算規模は、前年度と比べ16.8%減の77億4,000万円となっています。そのうち、一般歳出は、66億7,349万8千円で前年度と比べ16.9%の減となり、経常経費で1億7,833万9千円、3.4%の増額、投資的経費では15億3,206万円、55.8%の大幅な減額となっています。
また、特別会計の予算規模は、前年度と比べ18.1%減の67億3,574万5千円となっています。

(単位:千円, %)

区 分	平成20年度 A	平成19年度 B	増減額 (A-B) C	増減率 (C/B)*100	平成19年度現計予算額との比較		
					現計予算額	増減額	増減率
一般会計	7,740,000	9,300,000	△ 1,560,000	△ 16.8	9,361,004	△ 1,621,004	△ 17.3
うち一般歳出	6,673,498	8,027,219	△ 1,353,721	△ 16.9	7,981,349	△ 1,307,851	△ 16.4
経常経費	5,460,617	5,282,278	178,339	3.4	5,234,147	226,470	4.3
投資的経費	1,212,881	2,744,941	△ 1,532,060	△ 55.8	2,747,202	△ 1,534,321	△ 55.9
特別会計	6,735,745	8,225,748	△ 1,490,003	△ 18.1	8,940,550	△ 2,204,805	△ 24.7
国民健康保険事業	3,128,800	2,983,200	145,600	4.9	3,464,881	△ 336,081	△ 9.7
老人保健	244,000	1,987,000	△ 1,743,000	△ 87.7	2,187,474	△ 1,943,474	△ 88.8
大字龍田財産区	4,545	4,648	△ 103	△ 2.2	4,648	△ 103	△ 2.2
公共下水道事業	1,595,000	1,838,000	△ 243,000	△ 13.2	1,836,139	△ 241,139	△ 13.1
介護保険事業	1,479,900	1,412,900	67,000	4.7	1,447,408	32,492	2.2
後期高齢者医療	283,500	—	283,500	皆増	—	283,500	皆増
一般・特別会計合計	14,475,745	17,525,748	△ 3,050,003	△ 17.4	18,301,554	△ 3,825,809	△ 20.9
企業会計	1,186,618	1,174,873	11,745	1.0	1,174,041	12,577	1.1
水道事業会計	1,186,618	1,174,873	11,745	1.0	1,174,041	12,577	1.1
収益的支出	772,058	797,186	△ 25,128	△ 3.2	796,354	△ 24,296	△ 3.1
資本的支出	414,560	377,687	36,873	9.8	377,687	36,873	9.8
総 合 計	15,662,363	18,700,621	△ 3,038,258	△ 16.2	19,475,595	△ 3,813,232	△ 19.6

(注) 一般歳出とは、一般会計のうち、公債費、財政調整基金等への積立金、予備費を除いた額です。

平成19年度現計予算額は、12月補正後の予算額となっています。



財政規模等の推移(一般会計当初予算)

(単位:百万円, %)

区 分	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
財政規模	8,430	8,150	8,000	8,480	8,380	9,240	8,630	8,600	9,300	7,740
伸び率	4.7	△ 3.3	△ 1.8	6.0	△ 1.2	10.3	△ 6.6	△ 0.3	8.1	△ 16.8
一般歳出	6,885	6,499	6,376	6,869	6,851	7,175	7,211	7,142	8,028	6,673
伸び率	2.1	△ 5.6	△ 1.9	7.7	△ 0.3	4.7	0.5	△ 1.0	12.4	△ 16.9

国及び地方財政計画の財政規模等の推移

(単位:億円, %)

区 分	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	
国の 一般会計	財政規模	818,601	849,871	826,524	812,300	817,891	821,109	821,829	796,860	829,088	830,613
	伸び率	5.4	3.8	△ 2.7	△ 1.7	0.7	0.4	0.1	△ 3.0	4.0	0.2
	一般歳出	468,878	480,914	486,589	475,472	475,922	476,320	472,829	463,660	469,784	472,845
	伸び率	5.3	2.6	1.2	△ 2.3	0.1	0.1	△ 0.7	△ 1.9	1.3	0.7
地方 財政計画	財政規模	885,316	889,300	893,071	875,666	862,107	846,669	837,687	831,508	831,261	834,014
	伸び率	1.6	0.5	0.4	△ 1.9	△ 1.5	△ 1.8	△ 1.1	△ 0.7	0.0	0.3
	一般歳出	746,888	739,854	735,548	711,319	697,201	681,049	673,216	664,801	657,350	657,626
	伸び率	1.8	△ 0.9	△ 0.6	△ 3.3	△ 2.0	△ 2.3	△ 1.2	△ 1.2	△ 1.1	0.0

4 歳入の概要(一般会計)

町税は、31億8,740万円で、前年度と比べ、1,350万円、0.4%の減額となっています。

また、地方交付税においても、地域再生対策費の増額は見込めるものの、事業費補正分等の減により、前年度と比べ、1億1,500万円、6.4%の減額となっています。

国庫支出金では、自立支援給付費負担金や地方道路交付金、交通安全施設等整備事業費補助金などの減により、3,198万6千円、7.4%の減額となっています。

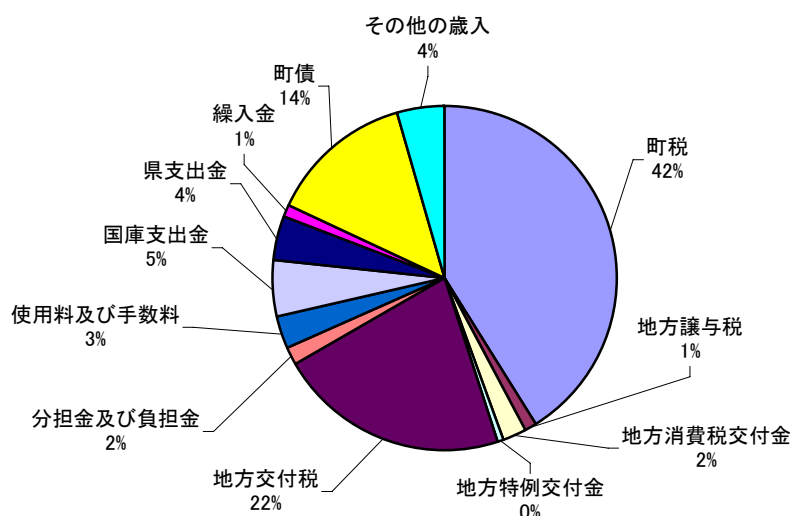
繰入金は、8,499万5千円で、前年度と比べ、7,511万1千円、46.9%の減額となっています。

なお、町債については、本町の課題であるJR法隆寺駅周辺整備、(仮称)文化財活用センター建設などの事業にかかる資金確保を図っているものの、(仮称)総合福祉会館建設事業が完了することから、前年度と比べ、12億5,540万円、54.4%の大幅な減額となっています。

(単位:千円, %)

区 分	平成20年度 予算額 A	平成19年度 予算額 B	増 減 額 A-B C	増 減 率 (C/B)*100	平成19年度現計予算額との比較		
					現計予算額	増減額	増減率
町税	3,187,400	3,200,900	△ 13,500	△ 0.4	3,200,900	△ 13,500	△ 0.4
地方譲与税	70,300	77,300	△ 7,000	△ 9.1	77,300	△ 7,000	△ 9.1
地方消費税交付金	185,100	186,900	△ 1,800	△ 1.0	186,900	△ 1,800	△ 1.0
地方特例交付金	32,300	31,900	400	1.3	18,507	13,793	74.5
地方交付税	1,695,000	1,810,000	△ 115,000	△ 6.4	1,851,145	△ 156,145	△ 8.4
分担金及び負担金	117,945	105,053	12,892	12.3	105,053	12,892	12.3
使用料及び手数料	233,518	234,865	△ 1,347	△ 0.6	234,865	△ 1,347	△ 0.6
国庫支出金	401,730	433,716	△ 31,986	△ 7.4	434,405	△ 32,675	△ 7.5
県支出金	336,708	354,386	△ 17,678	△ 5.0	355,552	△ 18,844	△ 5.3
繰入金	84,995	160,106	△ 75,111	△ 46.9	160,106	△ 75,111	△ 46.9
町債	1,050,400	2,305,800	△ 1,255,400	△ 54.4	2,318,600	△ 1,268,200	△ 54.7
その他の歳入	344,604	399,074	△ 54,470	△ 13.6	417,671	△ 73,067	△ 17.5
合 計	7,740,000	9,300,000	△ 1,560,000	△ 16.8	9,361,004	△ 1,621,004	△ 17.3

歳入の構成割合



5 歳出の概要(一般会計)

(1) 目的別内訳

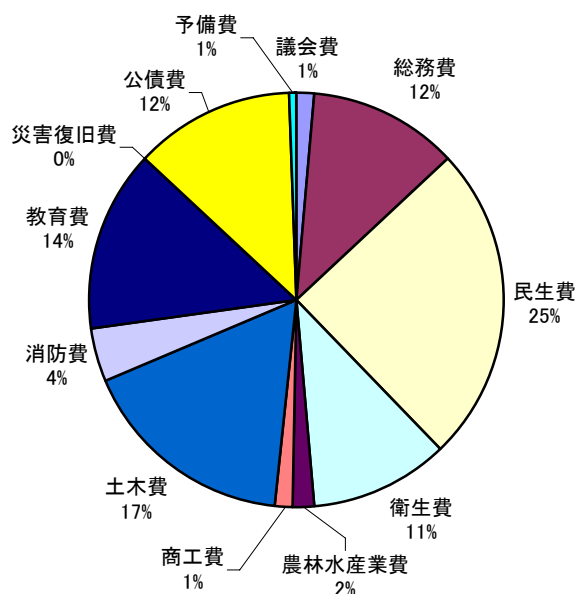
教育費が前年度に比べ、2億389万4千円、22.5%の大幅な増額となっています。これは、(仮称)文化財活用センター建設に着手するほか、学校校舎耐震補強にかかる事業費が増となったことによるものです。

一方、一般歳出で、大きく減額となったものは、民生費と土木費です。民生費は、前年度に比べ、13億6,168万6千円、41.6%の減額となっています。これは、(仮称)総合福祉会館建設事業が完了するためです。また、土木費は、法隆寺線整備事業、道路新設改良事業にかかる事業費が減となったことから、前年度に比べ、2億6,915万5千円、17.1%の減額となっています。

(単位:千円, %)

区 分	平成20年度 予算額 A	平成19年度 予算額 B	増 減 額 A-B C	増 減 率 (C/B)*100	平成19年度現計予算額との比較		
					現計予算額	増減額	増減率
議 会 費	103,525	107,033	△ 3,508	△ 3.3	107,114	△ 3,589	△ 3.4
総 務 費	911,205	889,253	21,952	2.5	893,076	18,129	2.0
民 生 費	1,910,234	3,271,920	△ 1,361,686	△ 41.6	3,295,495	△ 1,385,261	△ 42.0
衛 生 費	833,644	794,497	39,147	4.9	789,547	44,097	5.6
農 林 水 産 業 費	141,453	84,169	57,284	68.1	75,162	66,291	88.2
商 工 費	96,041	117,767	△ 21,726	△ 18.4	116,173	△ 20,132	△ 17.3
土 木 費	1,305,816	1,574,971	△ 269,155	△ 17.1	1,506,164	△ 200,348	△ 13.3
消 防 費	324,738	321,276	3,462	1.1	324,485	253	0.1
教 育 費	1,111,996	908,102	203,894	22.5	916,246	195,750	21.4
災 害 復 旧 費	6	6	0	0.0	6	0	0.0
公 債 費	951,342	1,191,006	△ 239,664	△ 20.1	1,191,006	△ 239,664	△ 20.1
予 備 費	50,000	40,000	10,000	25.0	146,530	△ 96,530	△ 65.9
合 計	7,740,000	9,300,000	△ 1,560,000	△ 16.8	9,361,004	△ 1,621,004	△ 17.3

歳出の構成割合(目的別)



(2) 性質別内訳

投資的経費が前年度に比べ、15億3,206万円、55.8%の大幅な減額となっています。これは、(仮称)文化財活用センター建設、学校校舎耐震補強にかかる事業費は増となったものの、(仮称)総合福祉会館建設事業が完了するためです。

また、公債費においても、昭和57年度発行の斑鳩南中学校建設用地取得事業債、平成8年度発行のふるさとづくり事業債が完済したことから、前年度に比べ、2億3,920万4千円、20.1%の減額となっています。

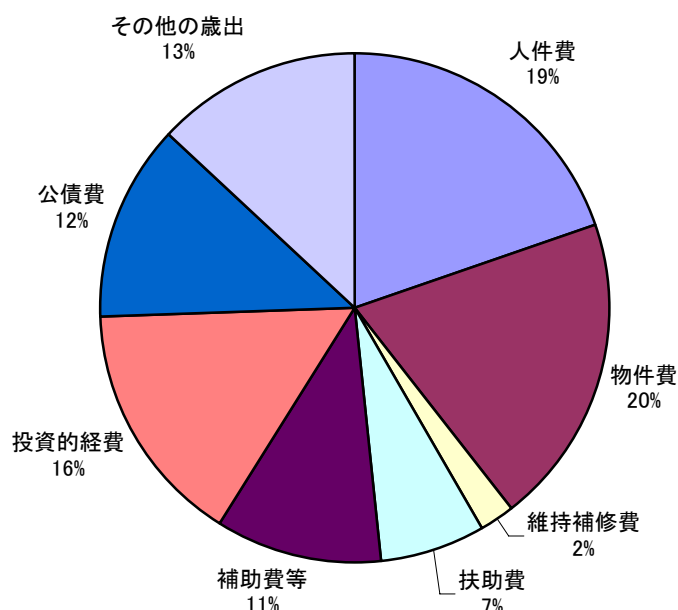
一方、補助費等は、前年度に比べ、1億5,241万9千円、22.8%の増額となっています。これは、後期高齢者医療制度の開始に伴って、療養給付費負担金が発生したためです。

また、物件費では、前年度に比べ、5,059万8千円、3.4%の増額、維持補修費では、施設の機能が十分に発揮できるよう、前年度に比べ、6,498万5千円、64.4%の増額となっています。

(単位:千円, %)

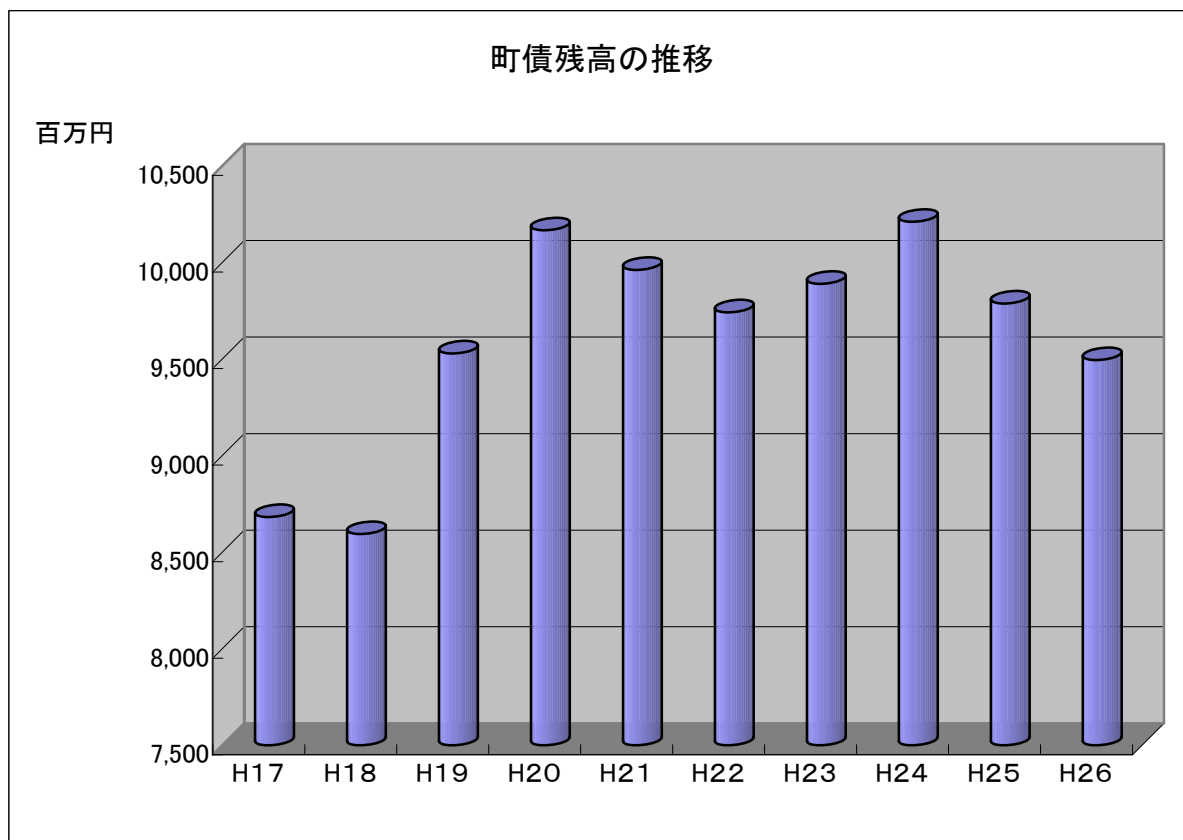
区 分	平成20年度 予算額 A	平成19年度 予算額 B	増 減 額 A-B C	増 減 率 (C/B)*100	平成19年度現計予算額との比較		
					現計予算額	増減額	増減率
人 件 費	1,522,431	1,548,175	△ 25,744	△ 1.7	1,538,769	△ 16,338	△ 1.1
物 件 費	1,533,427	1,482,829	50,598	3.4	1,489,573	43,854	2.9
維 持 補 修 費	165,889	100,904	64,985	64.4	100,904	64,985	64.4
扶 助 費	510,721	535,279	△ 24,558	△ 4.6	535,279	△ 24,558	△ 4.6
補 助 費 等	822,135	669,716	152,419	22.8	678,055	144,080	21.2
投 資 的 経 費	1,212,881	2,744,941	△ 1,532,060	△ 55.8	2,747,202	△ 1,534,321	△ 55.9
公 債 費	951,342	1,190,546	△ 239,204	△ 20.1	1,190,546	△ 239,204	△ 20.1
そ の 他 の 歳 出	1,021,174	1,027,610	△ 6,436	△ 0.6	1,080,676	△ 59,502	△ 5.5
合 計	7,740,000	9,300,000	△ 1,560,000	△ 16.8	9,361,004	△ 1,621,004	△ 17.3

歳出の構成割合(性質別)



6 町債残高の推移(一般会計)

町債の活用は、JR法隆寺駅周辺整備等の都市基盤整備や学校校舎耐震補強など本町が当面する政策課題に対処していくための財源確保、また、地方一般財源の不足に対処するためには、やむを得ないものと考えています。
 しかしながら、後年度の財政負担は必ず生じることから、その活用にあたっては、後年度の財政負担を見極めて慎重に対応していきます。



町債残高の推移(一般会計)

(単位: 百万円)

区 分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
町債残高	8,682	8,594	9,529	10,167	9,962	9,742	9,890	10,211	9,788	9,495